取材日：　平成 30 年　1 月　17 日

長久手人

File No. 13

長久手人の氏名
トウ ナイ　ミヤコ 藤内　美也子

活動内容	子どもの想像力を豊かにする読み聞かせボランティアの講師

Q1 活動内容と始めたきっかけは？

朗読の会「吾亦紅（われもこう）」に出会ったのは、自分の子どもの三歳児検診時の待ち時間です。そのときに、子どもに読み聞かせをしてくれていたのが、吾亦紅でした。
元々演劇が好きで、子どもも大好きな私は、吾亦紅に入会し、勉強を始め、仲間とともに活動に参加するようになりました。

Q2 「この」活動の「ここ」がおもしろい！やりがいがある！と思う事は？

施設のイベントや季節に合わせて作品を選び、その作品、作者の心情を想像して、それを聞き手の方々に伝え、感じ取っていただくことにやりがいを感じます。ボランティアと言えども傾聴してくださる方々に喜んでもらえるよう、もっともっと自分の技術を磨く為に練習、勉強は欠かせません。
自分の好きな活動をすることで、多くの方が喜んでくださるならば、こんな嬉しい事はないという思いです。

Q3 ずばり！あなたが考える「幸せ」とは？

好きな事をして、生活している「今」が一番幸せです。「一期一会」の言葉が好きで、自分にとって「今」という時間は、過去に過ごしてきた時間があってのものです。朗読は、今や私のライフワークであり、心を込めて伝え続けていけたら幸せです。

Q4 フリーメッセージ

（例）将来の目標、参加の呼びかけ

月1回の「大人のおはなし会」と、紙芝居や絵本の読み聞かせを行う子ども向けのお話し会で朗読をしています。そこに来る子ども達には、物語の内容を想像しながら聞いてほしいのです。想像の力で、どこへでも飛んでいけるような自由な発想を身につけてほしいと思います。

藤内さんの手書きの作品の数々（大人のおはなし会）

インタビューの様子

取材者（　ともこさん　）のコメント

ボランティアと言えども朗読を人前で発表するにあたっての姿勢はプロ並みで、毎週の勉強会、きびしいお稽古の指導、本番で間違わないようにする意識作り、そのような姿勢が何年も朗読の指導やイベントの活動を続けられ、生徒さんや施設の方、周りの人からの熱い信頼を得ている秘訣なんだと強く感じました。